野口様：

歌仙「紫陽花や」の巻については、言葉の使い方や語彙の豊かさに流石と思う点

が多々ありましたが、主として連句の式目や基本的なルールという点でご指摘申し

上げたい点が幾つかありました。その辺りを中心に感想を述べさせていただきます。

ここで指摘をさせていただくことは次の２点の連句の要諦に基づくものであること

をまずお伝えしておきます。

１．発句（立句とも言います。）は一巻を牽引する句であり、発句で使われた漢字

　　は発句以外の句において使ってはいけないとする定めは、この主旨から生まれ

　　たものであること。

２．芭蕉の言葉と言われている「歌仙は三十六歩なり。一歩もあとに帰る心なし。

　　行くにしたがひ心の改まるは、ただ先へ行く心なれば也。」が求めるものの

　　一つはリズムであり、停滞することなく進めるべきということに他ならない。

　　それ故、リズムの悪い表現や、字余り、字足らずは厳に慎む必要があること。

１）発句について

　　発句は一巻を牽引すべき長け高い句であることを求められており、有季定型で

　　切れ字または切れのある句が望ましいと言われています。今回の発句「紫陽花

　　やその朝ごとの景色かな」は、「～や～かな」という典型的な二段切れの句で

　　あり、難があります。発句すなわち俳句は１７音の世界最短の詩形ですので、

　　無駄な表現を省くとともに、一か所を切って主張したい象徴的な言葉を際立た

　　せる必要があります。それが２か所になると焦点が分散してインパクトの薄い

　　句になり発句として一巻を牽引するには力不足になります。

　　また、切れ字を使って良いのは発句のみであり、平句で切れ字を使うことは、

　　発句の象徴性に水を差すことになります。その意味で、ウ１句目及びナオ９句

　　目の句は切れ字または切れ字めいた言葉の使い方であり、発句に対する敬意を

　　欠いた句になっていると言えます。

２）作品の記載方法

　　エクセルにまとめられた句順表の「作品」のカラムの記載の仕方ですが、長句

　　は頭から、短句はひとマス下げて記載するのが一般的です。そうすることで、

　　長句、短句の別が明確になり長句の箇所で短句を詠むというようなミスを未然

　　に防ぐことができます。

３）短句の下七の４，３について

　　この巻の中の短句において、下七が「４，３」すなわち言葉の音数が４音が先で

　　後が３音となっている句が散見されました。例えばオモテ４句目の「西に東に

　　電話をかける」があります。この句の下七は「～電話をかける」であり、「でん

　　わを」（４音）「かける」（３音）の構成になっています。これに対して、私の

　　添削は「電話掛け継ぐ」であり。「でんわ」（３音）「かけつぐ」（４音）です。

　　この二つを声を出して読み比べてください。どちらがリズムが良いか、腹落ち

　　するかを考えてみてください。一般的には３音、４音即ち、３，４の方が落ち着

　　きます。この下七については２音、５音の組み合わせもあり、その例がナオ４句

　　目になります。「長屋門から幔幕張りて」と下七が４，３になり落ち着きません。

　　これを添削では「幔幕を張る長屋門から」と入れ替えて下七を５、２に変えてみ

　　ました。但し、短句の下七の４、３を常に避けるべきとは言えません。例えば

　　その詠む内容が妖怪とか無常とか社会問題のような場合には、むしろ短句の下七

　　を敢えて、４，３にして無常や問題を増幅させるという手法もあります。

４）発句に「花」の字が出た場合のウラの花の座の句

 この歌仙の発句は「紫陽花や～」で始まり、発句の中に「花」の文字があります。

　　発句に「花」が出た場合、ウラの花の座は、発句に敬意を表して、発句に障らない

　　ように「花」の字を使わない配慮が求められます。従ってウ１１句目の「花吹雪

　　松に掛かりしもの攫う」は、「桜散り松に掛かりしもの攫う」とでも変更する方

　　が良いと思います。

５）森羅万象を詠む

　　連句は森羅万象、虫を見つめるミクロの目から銀河系を超えた宇宙まで詠むことが

　　できます。今回の句には海外の句や固有名詞（地名、人名）、この一巻が２０２２

　　年の年央に詠まれたものであることを後世になっても明確に認識できるような時事

　　の句がなかったようです。また一巻で最も盛り上がる恋の句については歌仙では２

　　か所あることから、片方が淡い恋の句であれば、もう片方は濃艶な句にすると言っ

　　た恋句の濃淡があっても良かったかと思います。一方一巻に必ず含めるべき神祇と

　　釈教の内、釈教の句が３句もあったのは流石に多すぎでした。

６）序破急

　　歌仙の構成はオモテ６句、ウラ１２句、ナオ１２句、ナウ６句の３６句であり、

　　これを序破急に当てはめると序＝オモテ６句、破＝ウラ１２句及びナオ１２句、

　　急＝ナウ６句となります。そして「破」の箇所においては大いに暴れるべきです。

　　しかし、今回の歌仙は比較的に大人しかったのではないでしょうか。破の２４句

　　においてはもっと大暴れして盛り上がっていただいても良かったのですが、品よく

　　まとめられた印象を持ちました。

７）六吟歌仙評定について

　　楽しく読ませていただきました。今回はメールでやり取りされたようですが、これ

が

　　一堂に会して行われれれば、その楽しさや盛り上がりはさぞかしと思いました。

　　一日も早いコロナ禍の終息を願うばかりです。

８）総評

　　良い歌仙にまとまっており、良い付け句もかなりありました。連衆別の付け句の数

　　もバランスが取られていてお見事でした。いただいた句順表の作品のカラムの隣に

　　「コメント」の欄を設けて、個々の課題や指摘をさせていただきました。また良い

　　付け句には〇を付しました。ご笑覧ください。

以上、簡単ですがよろしくお願いいたします。

---------------------------------------------------------------------

野口様：

お早うございます。

協会報がお手許に届いたとのこと安心いたしました。

また、お申し越しの２点につきましては、いずれも了解です。

１．に関しましては、これから間もなくアメリカと日本をZOOMで結んだ

連句会を開きます。概ね２～３時間程を要するかと思います。

その後に対応させていただきますので、今暫くお待ち下さい。

以上、よろしくお願いいたします。

PS:

今回も情報共有のため小池をCc:に含めさせていただきます。

ご了解ください。

----- Original Message -----

>Date: Fri, 30 Sep 2022 19:41:37 +0900

>From: 野口　武彦 <nghiko@xb3.so-net.ne.jp>

>To: takao.hideshiro@nifty.com

>Subject: 再び ご回答御礼

>

>

>高尾秀四郎　様

>

>本日、小池様から協会報の御送付を受けました。御仲介有難うございました。同報に

連句協会への加入手続き・連絡先等が記してありましたので、今後はこちらを窓口にし

て事を進めます。尊台におかれましてはどうか御放念下さい。

>

>ですが、ご親切に甘えまして二つお願いがございます。叶えて下れば幸いこの上もご

ざいません。

>

>①向こう見ずにもお願いしました歌仙『紫陽花や』巻およびその評定についてのご感

想を是非とも下さるように、くどいようですが重ねてお願い申し上げます。全国的な基

準の下でどのくらいの評価を受けるかは、拙老のみならず、社中メンバー総員への励み

になると信じますのでよろしく。

>

>②このたびの日本連句協会ヘの加入についてのお問合せ、ならびにそれに対する尊台

のご回答を、拙老の個人ブログ「野口武彦公式サイト――桃叟だより」に転載させて頂

きたく存じますが、ご許可下さいますでしょうか。お伺い致します。

>

>以上、無遠慮なお願い御免下さい。敬具

>--

>野口　武彦 <nghiko@xb3.so-net.ne.jp>

>

>

>

>On Fri, 30 Sep 2022 08:04:25 +0900 (JST)

>takao.hideshiro@nifty.com wrote:

>

>> 野口様：

>>

>> ご丁重な回答御礼をいただき恐縮しております。

>> 副会長の小池からは、取り急ぎ日本連句協会の協会報「連句」の最近号を

>> 野口様にお送りしますとの報告を受けておりますので、間もなくお手許に

>> 届くものと思います。

>> またお送りいただきました歌仙「紫陽花に」の巻及びご評定につきましては

>> この週末に拝見し、改めて感想など送らせていただきます。

>> 野口様には十分な連句実作の力量をお持ちであると推察いたしますが、

>> 座の文芸ですので、やはり数多くの実作を通して磨かれるという面があり

>> ます。是非お近くの連句グループ等との交流を通じて、連句の実作を楽しんで

>> いただければと思っております。連句グループのご紹介は野口様からのご要望

>> があれば小池の方が対応させていただく所存であると申しております。

>> また日本連句協会へのご入会をご検討であれば、入会のご案内を差し上げ

>> ますので、ご遠慮なくお知らせください。

>> 以上、取り急ぎ「回答御礼」拝受のお礼のみ申し上げます。

>>

>> PS:

>> 情報共有のため、小池のアドレスも含めさせていただきます。

>> ご了承ください。

>>

>>

>> ----- Original Message -----

>> >Date: Thu, 29 Sep 2022 19:30:57 +0900

>> >From: 野口　武彦 <nghiko@xb3.so-net.ne.jp>

>> >To: takao.hideshiro@nifty.com

>> >Subject: ご回答御礼

>> >

>> >

>> >日本連句協会　高尾秀四郎　様

>> >

>> >このたびは突然不躾にお問合せを差し上げたにも拘わらず、ご丁重なご回答を給わ

り

>> 、まことに有難うござました。

>> >

>> >目下、御尊台がご配慮して下さった小池様からのコンタクトを鶴首お待ちしており

ま

>> すが、一方また、前信では拙生らの希望を申し述べただけで、当方が実際にどのく

らい

>> の力量なのかご判断をいただく材料をお示ししていないことに気付きました。

>> >

>> >連句協会となさましても、ただ一方的に加入を申し出られてもお困りのこととと拝

察

>> 致しますので、この際いかにも身の程知らずかも知れませんが、拙生らのレヴェル

が貴

>> 協会の許容度に達しているかどうか御判定下さるようにお願い致します。

>> >

>> >どんなことをしているかを知っていただくために、直近の歌仙興行「紫陽花に」の

句

>> 順表と桃叟の捌による同評定のくだりを記録してお目に掛けます（添付ファイル参

照）

>> 。もしお暇がおありでしたら参考までに御一瞥下されば幸甚でございます。右、伏

して

>> お願いまで。

>> >--

>> >野口　武彦 <nghiko@xb3.so-net.ne.jp

>> >

>>

>> ＃＃＃＃＃＃＃＃＃＃＃＃＃＃＃＃＃＃＃＃＃＃

>> 高尾秀四郎

>>

>> 〒194-0203

>> 東京都町田市図師町１３３３－８

>> Tel&Fax:042-793-3984

>> Mobile:090-2213-2513

>> E-Mail:takao.hideshiro@nifty.com

>> ＃＃＃＃＃＃＃＃＃＃＃＃＃＃＃＃＃＃＃＃＃＃

>

＃＃＃＃＃＃＃＃＃＃＃＃＃＃＃＃＃＃＃＃＃＃

高尾秀四郎

〒194-0203

東京都町田市図師町１３３３－８

Tel&Fax:042-793-3984

Mobile:090-2213-2513

E-Mail:takao.hideshiro@nifty.com

＃＃＃＃＃＃＃＃＃＃＃＃＃＃＃＃＃＃＃＃＃＃